

## ERで使う利尿薬

一般名（商品名）	作用機序	代表的な投与方法・投与量	作用発現・持続時間	薬価（先発品）
注射薬				
フロセミド (ラシックス® 注 20mg)	ループ利尿薬	1回 20mg を緩徐に静注もしくは筋注 ※毎分 4mg 以下となるように投与速度を調整するよう、添付文書では記載されている <sup>1)</sup> 。	■発現：5 分 ■持続：3 時間 <sup>2, 3)</sup>	■20mg (2mL) / アンブル・62 円
カンレノ酸カリウム (ソルダクトン® 静注用 100mg/200mg)	ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬	1回 100～200mg を 1 日 1～2 回、ブドウ糖注射液、生理食塩水または注射用水 10～20mL に溶解して 3～5 分かけて緩徐に静注	■発現：血漿中最大濃度は 30 分前後で到達 ■持続：半減期 9 時間程度 <sup>4)</sup>	■100mg/ アンブル・250 円 ■200mg/ アンブル・397 円
アセタゾラミドナトリウム (ダイアモックス® 注射用 500mg)	炭酸脱水酵素阻害薬	500mg/V を蒸留水 20mL で溶解し 3～5 分かけて緩徐に静注もしくは筋注	■発現：2～10 分 ■持続：4～5 時間 <sup>5)</sup>	■500mg/ バイアル・514 円
D-マンニトール (20% マンニトール注射液)	浸透圧利尿薬	1 回体重 1 kg あたり 5～15mL (1.0～3.0g) を点滴静注 (最大 200g/day) ※ 0.25g/kg でも効果は観察される <sup>6)</sup> 。 ただ一般的には 1g/kg で投与されることが多い。 速度は 100mL を投与するのに 3～10 分かける。	■発現：15～30 分 ■持続：1.5～6 時間 <sup>7)</sup>	■20%300mL (60g) / 袋・444 円
内服薬				
フロセミド (ラシックス® 錠 10mg/20mg/40mg)	ループ利尿薬	1 日 1 回 40～80mg を連日または隔日経口投与	■発現：30～60 分 ■持続：6～8 時間 <sup>3)</sup>	■10mg/ 錠・9.3 円 ■20mg/ 錠・9.8 円 ■40mg/ 錠・12.2 円
アゾセミド (ダイアート® 錠 30mg/60mg)	ループ利尿薬	1 日 1 回 60mg を経口投与	■発現：1～2 時間 ■持続：9～12 時間 <sup>8)</sup>	■30mg/ 錠・15 円 ■60mg/ 錠・22.1 円
トラセミド (ルブラック® 錠 4mg/8mg)	ループ利尿薬	1 日 1 回 4～8mg を経口投与	■発現：1 時間程度 ■持続：6～16 時間 <sup>9)</sup>	■4mg/ 錠・18.4 円 ■8mg/ 錠・29.4 円
トリクロルメチアジド (フルイトラン® 錠 1mg/2mg)	サイアザイド系利尿薬	1 日 2～8mg を 1～2 回に分割経口投与	■発現：明記なし (100 分以内に最大利尿を示す) ■持続：6～7 時間 <sup>10)</sup>	■1mg/ 錠・9.8 円 ■2mg/ 錠・9.8 円
スピロノラクトン (スピロノラクトン錠 25mg/50mg、アルダクトン®A 錠 25mg/50mg)	ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬	1 日 50～100mg を分割経口投与	■発現：血漿中最大濃度は 2～3 時間で到達 ■持続：半減期は 11～12 時間 <sup>11)</sup>	■25mg/ 錠・16.8 円 ■50mg/ 錠・36.0 円
アセタゾラミドナトリウム (ダイアモックス® 錠)	炭酸脱水酵素阻害薬	1 日 250～1,000mg を分割経口投与	■発現：1～2 時間 ■持続：6～24 時間 <sup>5, 12)</sup>	■250mg/ 錠・20.4 円
トルバプタン (サムスカ®OD 錠 7.5mg/15mg/30mg)	パソプレシン V <sub>2a</sub> 受容体拮抗作用	心不全による体液貯留：1 日 1 回 15mg と経口投与 肝硬変による体液貯留：1 日 1 回 7.5mg を経口投与 常染色体優性多発性嚢胞腎：1 日 2 回 60mg を経口投与 (朝 45mg 夕方 15mg) <sup>13)</sup>	■発現：0～2 時間 ■持続：12～24 時間 <sup>14)</sup>	■7.5mg/ 錠・1084.7 円 ■15mg/ 錠・1650.1 円 ■30mg/ 錠・2505.9 円

(文献 1～15 を参考に作成)

引用・参考文献

- 1) フロセミド注射液 医薬品インタビューフォーム 2018 年 1 月改訂 (第 2 版).
- 2) 日本麻酔科学会. 麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン. 第 3 版. [https://anesth.or.jp/users/person/guide\\_line/medicine](https://anesth.or.jp/users/person/guide_line/medicine) (accessed 2022-04-16)
- 3) up to date“Furosemide: Drug information” (accessed 2022-04-16)
- 4) ソルダクトン®静注用 医薬品インタビューフォーム 2020 年 9 月改訂 (第 9 版).
- 5) up to date“Acetazolamide: Drug information” (accessed 2022-04-16)
- 6) Marshall, LF. et al. Mannitol dose requirements in brain-injured patients. J Neurosurg. 48 (2), 1978, 169-72.
- 7) up to date“Mannitol (systemic) : Drug information” (accessed 2022-04-16)
- 8) ダイアート®錠 医薬品インタビューフォーム 2018 年 2 月改訂 (第 10 版).
- 9) Buggey, J. et al. A reappraisal of loop diuretic choice in heart failure patients. Am Heart J. 169 (3), 2015, 323-33.
- 10) 阿部裕ほか. “Trichlormethiazide の降圧利尿効果の臨床的検討”. 最新医学. 15 (10), 1960, 2725-31.
- 11) アルダクトン®A 錠 医薬品インタビューフォーム 2022 年 1 月改訂 (第 10 版).
- 12) 遠藤馨ほか. “Diamox の臨牀経験殊に腹水患者における利尿効果について”. 日本臨牀. 15 (9), 1957, 1720-7.
- 13) サムスカ®OD 錠 医薬品インタビューフォーム 2021 年 10 月改訂 (第 23 版).
- 14) Kim, SR. et al. Pharmacokinetics, pharmacodynamics and safety of tolvaptan, a novel, oral, selective nonpeptide AVP V2-receptor antagonist: results of single- and multiple-dose studies in healthy Japanese male volunteers. Cardiovasc Drugs Ther. 25 (Suppl 1), 2011, S5-17.
- 15) 厚生労働省. 薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について (令和 4 年 6 月 17 日適用). <https://www.mhlw.go.jp/topics/2022/04/tp20220401-01.html> (2022-06-20)